日仏会館　秋の対談と討論

2006年10月27日（金）| 18時 | 一階ホール

社会格差について

ロベール・ボワイエ
橘木俊詔

TACHIBANAKI Toshiaki　橘木俊詔

橘木俊詔：京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授。フランス国立統計経済研究所、スタンフォード大学、国際通貨機関など現在までに国内外の数多くの研究機関で客員研究員を務める。労働経済学、公共経済学、格差の経済学などが専門。著作に『日本の経済格差』（岩波書店、1998年）、『格差社会 何が問題なのか』（岩波書店、2006年）、『日本の貧困研究』（東京大学出版会、2006年、浦川邦夫と共著）、『失業克服の経済学』（岩波書店、2002年）などがある。

ロベール・ボワイエ　Robert BOYER

ロベール・ボワイエ：フランス国立科学研究センター（CNRS）主任研究員、フランス国立社会科学高等研究院（EHESS）教授。レギュラシオン理論の中心的な理論家のひとりであり、その仕事は経済分析の幅広い領域に及ぶ。日本で翻訳出版された著作に『戦後日本資本主義』（藤原書店、2005年）、『現代「経済学」批判宣言』（1996年、藤原書店）、『脱グローバリズム宣言』（2002年、藤原書店）、『資本主義VS資本主義—制度・変容・多様性』（2005年。藤原書店）などがある。

日仏会館・フランス事務所
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25
tel:03-5421-7641|fax:03-5421-7651|www.mfj.gr.jp